

令和5年度 加東市障害者支援地域協議会 発達支援連絡会の報告

令和6年9月27日(金)

令和5年度 発達支援連絡会の概要

(1) 参加者: 学識経験者、医療、保健、教育、就労、福祉、保護者、事務局など、計23名

委員長 : \*\*\* 氏

副委員長 : \*\*\* 氏

(2) 内容

① 令和5年度発達サポートセンターの事業実施状況の報告

② 議題

【提案事項1】

「移行支援における連携(特に就学時)について」

提案者 一般社団法人つばめ会 \*\*\* 氏

- ・児童発達支援事業所が3か所から2か所に減少したことについて(つばめ会、わかあゆ園)
- ・日常的な関係機関との連携について(移行支援の連携、特に就学前の移行)

【提案事項2】

「18歳の壁問題について～保護者が勤務している間の支援やサービス～」

提案者 おひさまうさきず \*\*\* 氏

- ・支援が必要なお子さんの保護者が勤務されている場合の保護者やお子さんの支援について

③ 質疑・協議

④ 指導助言(\*\*\*委員長、\*\*\*副委員長)

今回は、提案事項2件について、課題や問題意識を共有できた。

提案事項1については、就学移行段階における課題が2つ挙げられた。

1つは、教育と福祉、特に児童発達支援事業所との連携である。現状は、就学に係る委員会における審議に児童発達支援事業所での子どもの様子が反映されにくいことがあるので、今後は、教育委員会を中心に体制を見直して連携を強化する必要があることを助言された。

もう1つは、教育と家庭との連携である。保護者に対して積極的に情報提供して連携を強化する必要があることを助言された。

提案事項2については、就労における課題として通勤問題が挙げられた。現状は、加東市における通勤手段が少なく、保護者に負担がかかったり就労に制限がかかったりするという問題が共有された。